



フィールドワークによる 河川環境の保全についての研究 原田ゼミナール

～河川環境について～

現在、世界的に海洋ごみ、いわゆるプラスチックごみが社会問題となっています。

これらのゴミはマイクロプラスチックとなり、海洋に漂い・環境汚染・生体系の破壊・海洋生物の誤飲による死亡事例、プラスチックを誤飲し汚染された魚を食べることによる健康被害の可能性などが問題となっております。

原田ゼミナールでは、これらの問題と向き合い河川環境の保全やプラスチック問題について学んでいきます。



～コロナ禍での活動～

コロナ禍では密になるため、ゼミのメンバーで集まることができませんでした。しかし、ZOOMなどを用いてオンラインで話し合い、関西大学・同志社大学・大阪商業大学の3大学でのオンライン合同ディベート大会、京都府保津川にある川の駅の新しいイベントに対するアクティビティの提案とその実行を行いました。



～庭窪・海老江での活動について～

毎年、淀川にある庭窪、海老江で活動しています。海老江ではゴミ回収、庭窪ではゴミ回収・生態系調査、イタセンパラの保全活動を行っているが、今年はコロナ禍ということもあり、参加人数 5 人に制限して行いました。



～保津川での活動について～

毎年、保津川では地域のボランティアの方々とともに、天然アユの復活プロジェクトなどの環境保全活動を行っています。しかし、昨年に続いてコロナ禍の影響もあり、一度しか活動が行えませんでした。

